



連盟だより

<http://www.jcfnc.org>

2010年9月30日発行 Vol.7

Yin (陰) と Yang (陽)

会長 松浦 功
(Chorale May 所属)

大学4年生の夏休み、私はニューヨークの国連本部で開催された学生研修プログラムに1か月、日本代表として参加した。毎年、国連分担金を負担している国から、大学・大学院の学生が派遣され、それぞれの専攻科目に応じた部署で、インターン生として働きながら国連のことを勉強するプログラムである。

私は、当時法学部(国際法)の4年生に過ぎなかったが、法務部に立派な一室を秘書付きで与えられ、コンゴ動乱をめぐる国連軍の法的性格についてのレポートを書かされた。思えば、就職して海外勤務が長くなった私のルーツとなる研修であった。

そして、忘れがたい思い出がもう一つ。当時マンハッタンで日本レストランを経営されていた大学の先輩を紹介された。そのレストラン『むすび』は、ミッドタウンにあり、玄米を中心に『ひじき』と『鯉こく』のみそ汁をセットにしたユニークな店であった。店の名前『むすび』が、東西を『結ぶ』と『おむすび』とを結びつけたのがユニークなら、看板メニューの由来もまたユニークであった。

創設者は、食と健康、さらには世界平和までも結びつけようともくろんでいた。人間の肉体は、細胞から成り立っているが、その成分は殆どが水で、残り数パーセントが各自の取る食物の栄養により構成されている。従って、肉食を主とする人はどうしても好戦的な考え方に、また、菜食を主とする人は物事を穏やかに考えがちとなる。この思想に基づき、まず肉食を排除、次に糖分を出来るだけ使用しないことを原則にメニューが決められた。

ユネスコの憲章前文には、『戦争は、人の心に始まる』とある。従って、『平和』もまた人の心から始まるわけで、メニューには食生活の改善によって世界平和をも実現しようとする思いが込め

られていた。ただし、人の食生活パターンは急に変えられない。そこで、一番から七番までの七通りのメニューを用意、一番メニューの白いご飯にてんぷら、味噌汁、漬物からスタートし、件(くだん)の究極の健康・平和志向料理へと挑戦してもらう周到ぶりである。

毎週水曜日には、創設者たちによる『食養』に関する講義まで行われた。私自身が大変感銘を受けたのが、『陰陽』シリーズの講義である。いわく、世の中すべて森羅万象は陰陽で成り立っている。食物一つをとっても、ニンジン、ピーマン、りんご等色彩鮮やかなものは『陽』であるし、ゴボウ、芋、ひじき等は『陰』である。ご飯は『弱陰』で、かつ理想に近い食物とされる。人間の健康は、『陰』と『陽』のバランスによって保たれる。風邪を引くのは、体が『強陰』になったため、出来るだけ『陽』の食物を取り、バランスを取れば治る理屈となる。すなわち、冷たいものは陰なので、暖かい食物でかつ色の明るいもの、密度がつかんだもの、味付けの若干からめの食物を取ればよい。

アルコールについては、この食養では禁じられていないのが有難い。ただここでも、ビール、日本酒は『陰』、ウイスキー、ワインは『陽』とされているので、適当に飲み分ければいいのだろう。

さて、私たちのコーラスも、バランスのとれたハーモニーが要求される。混声にしる、男声・女声合唱にしる、美しいハーモニーが求められる。言い換えれば、陰と陽のバランスが醸し出す素晴らしいハーモニーを、私たちが作り出していくことが、合唱団の使命と言うと少し言い過ぎだろうか？

企業の盛衰、人種間の対立等、ものごとが鋭いコントラストを見せがちな現在のアメリカで暮らすようになると、古きよき時代のアメリカで『夢』を育てようとしたレストラン『むすび』につらなる思い出が、ひととき懐かしく思い起こされる今日この頃である。





2011年5月の合唱祭に先立って 「アジア月間」

上田牧子

(San Francisco Forest Choir 所属)

今年5月の終わり、私の勤務先のサンマテオカレッジ (College of San Mateo) の学部長のヘンリーからメールが届きました。時はアジア月間中。「来年のアジア月間に、日本合唱連盟にまた歌ってもらいたいんだけど。」

ヘンリーは、2008年の合唱祭の際に会場やスポンサーの件で力になってくれた方です。彼は「ダイバーシティ イン アクション グループ (DIAG)」という学内の団体の委員長で、学生や教職員の多文化への理解の促進に力を注いできました。DIAG は年間を通じて講演会や催し物の企画と運営を行っており、毎年5月のアジア月間もDIAGの活動のひとつです。

アジア月間の正式な名称は「アジア太平洋諸島系アメリカ人の文化遺産継承月間」。初めは1978年に「週間」として制定されましたが、1997年に月間となりました。最初の日系移民がアメリカに到着したのが1843年の5月7日で、それが5月に決められた理由のひとつだそうです。

サンマテオカレッジのアジア月間では、講演会、コンサート、映画祭、パネルディスカッションなどが催されます。今年はポリネシア系の学生グループが中心となり、ポリネシアダンスやポリネシア料理を振る舞うフェアも行われました。

サンマテオ周辺はもともと白人の居住者が多く、学内の教職員と学生の数もそれを反映していました。ところが近年、アジア系やヒスパニックの人口が増え、それに伴い学生層も多様な文化的背景を持つ人が多くなりました。しかし、教職員はまだまだ白人が大多数で、そのために起こる学生と教職員間の誤解やコミュニケーションの行き違いを耳にすることが少なくありません。

そう言う意味でも、アジア月間は異文化を見直しやすい機会となればと思います。また、来年5月の私たちの歌声を通じて、文化を超えた理解や共感を多くの人と分ち合えることができるよう願っています。

サンフランシスコ日本祭いしかわ Japan Festival Ishikawa-Culture in SF

石川県・金沢市が誇る日本の伝統芸能・文化などを紹介し、日米交流の一助となることを目的に、石川県でご活躍の芸術家の皆さんがサンフランシスコ・デイヴィス・シンフォニー・ホールで公演を行います。

【日時】2010年11月22日(月)午後6時 開場
午後6時：展示会開演
午後7時：ステージ公演開演

【会場】SF Davies Symphony Hall
201 Van Ness Ave., San Francisco

【チケット】\$20 City Box Office

【主催】財団法人石川県芸術文化協会
(Ishikawa Art and Culture Association)
石川県、金沢市

【Information】City Box Office 415-392-4400
New Overseas World 415-441-8686



【参加】

- 石川県芸文協
- ・ 詩吟
 - ・ 剣詩舞
 - ・ 太鼓
 - ・ 三味線
 - ・ 和装
 - ・ いけば花
 - ・ 書美術
 - ・ リズムダンス
 - ・ 洋舞
 - ・ 合唱

「合唱」では、北カリフルにア日本合唱連盟も賛助出演します。歌は、ふるさとの四季(混声)。朝倉喜裕(あさくらよしひろ)先生が指揮をされます。

朝倉喜裕先生略歴 (コール・とがしウェブサイト <http://www.geocities.jp/chortogashi04/sub2.htm> より抜粋)
野々市町出身。武蔵野音楽大学声楽科を首席で卒業、同大学院修了。ヴォーカルのソリスト、合唱指導者として活躍されている。コール・とがし、ミュージズの会、金城短大コーラス部、金沢市中央公民館合唱団など多くの合唱団の指導にあたっておられ、演奏会・コンサート等でご活躍の一方、石川県婦人コーラス連盟を率いて海外での演奏会も行う。

現在、日本演奏連盟会員、金城大学短期大学部教授、野々市町音楽文化協会会長、石川県合唱連盟理事長。

さくらコーラス 第三回定期コンサートを終えて

さくらコーラス音楽担当 榊原晴子

6月20日日曜日の午後、第三回桜コーラス定期コンサートがチリ、ハイチの災害支援の募金コンサートとして開催され、無事終了致しました。当日はお天気にも恵まれ、父の日にもかかわらず、会場は200人近くの方々に一杯になりました。今回、私達はソプラノ8人、アルト7人でコンサートに臨みました。

プログラムはPart I “Songs of Four Seasons” Part II “Lullabies and Songs for Children”, Part III “Finale” と題して、三部構成。そしてPart Iの終わりにピアノ担当の灰谷治子さんのシューベルト「楽興の時」の演奏がありました。

選曲は前回のコンサートで頂いたお客様の感想も考慮して、日本からの方には四季の歌をしっかりと、日系の方達には昔収容所で子供のころに聞いていた童謡、子供たちには唱歌や最近の童謡、英語だけの方にはアメリカの古い歌を、そして私達自身が是非歌いたい新しい歌も含めて全20曲となりました。今回は初めて三部合唱にも挑戦し、特に「旅立ちの日に」の練習には皆とても熱が入りました。この歌は「歌声の響く学校」の集大成として「卒業する生徒たちのために、何か記念になる、世界にひとつしかないものを残したい」と思った音楽教諭の熱意が実り、校長の作詞にその教諭が曲をつけたものです。今では「仰げば尊し」に変わって、小中高での卒業式に最もよく歌われる歌だそうです。この曲を歌い終わった時のみなさんのほっとした笑顔がとても印象的でした。達成感のある歌でした。

以下、頂いたコメントを少しご紹介したいと思います。

“Very beautiful and inspiring! I really enjoyed the diversity of the songs.” “Enjoyed the program immensely. This is my third visit!” “I am looking forward to the next and especially grateful for your describing the lyrics in English. I understand very little Japanese. I really enjoyed Mt. Fuji and Grandfather’s Clock.” “Thank you for the wonderful concert. I especially liked the program with a

background and what the song conveyed. Excellent choice of music and the beautiful voices!! Hope to have further concerts to attend.”

「なつかしい歌ばかりでした。とても上手ですね…。地震の災害のためのコンサートはとてもよい事だと思います。ありがとうございました。」

「今度はポケモンの歌も歌ってね。」

当日には前会長の賀川正人さんが遠方よりわざわざお子さんを連れていらして下さり、一同深く感謝致しました。また松浦会長よりのお励ましもありありがとうございました。

胸はずみ笑みつつリズムとる人の

野薔薇のような目元光りて 6.20.2010 大島晴子



六月二十日の定演にて

コンサートを終え

ホーキンス美子

(Sakura Chorus 所属)

初めてさくらコーラスを知ったのは2年前、お友達に誘われてコンサートに行ったときです。日本を離れて40余年、懐かしい日本の歌、ましてや子供のころ聞き育った懐かしい歌が聞けまして心がキューンとなる想いでした。田舎で育った私は夕日が沈む田んぼ道を、父が自転車で、前に妹、後ろに私を乗せ、音痴な声でつぶやくように歌ってくれた歌“七つの子”を思い出していました。シートから落ちないようにしっかりと父のシャツを握り、自分の耳を父の背に押し当てた時に聞こえてきた“あの歌が又聞こえる”。今亡き父への思い、そして子供のころの懐かしさがつのり、涙が止まりませんでした。

ただ歌えるということがうれしくて、それが唯一の理由でさくらコーラスのお仲間させていただ



いつもの練習風景からー 『赤とんぼ』とベジタリアン

福井良子

(Choral Cosmo 所属:庶務担当)

コーラルコスモはシリコンバレーの日系の合唱団、といってもご存知のように日本語を母国語としない人達も含まれております。そのため恵子先生は英語で指導をなさいます。従って、最近の練習風景にはこんな一幕も。「ゆうや - けこやけ - の - あかとんぼ - 」と全員ユニゾンでの歌い出しの部分、暗譜で出だしはスムーズに一応OK。間奏が入り、次は女声二部で「や - ま - のはたけ - のくわの - み - を - ...」と流れ、次の男声二部の「じゅうご - でねえや - は - ...」の頭の部分が何となくドスがきいた感じに、すると途端に恵子先生の注意が飛びます。

“Stop, stop! You sound meaty. No. Not Meaty!”

(女声側のヒソヒソ声:「え、先生今何て言った? な・み・で? 波で??」)

“Sing like a Vegetarian!! We really need a vegetarian sound for this song”

(だれかがヒソヒソ声で、あえて片仮名発音で「ベジタリアン。だからさっきのは Meaty って言ったのね。ミート(肉)じゃなくてベジタリアンのようにって。」「あ - 、そうなんだ - 。」)

うーんなるほど、これなら日本語を知らない人でもみんなに合わせ、それなりに日本の曲の雰囲気を出せるんだなあと感心。メロディにどことなく日本の郷愁を感じても、ここで歌詞を直訳して「(昔の日本の田舎では)娘は15歳で嫁に行かされ、故郷からの手紙も来なくなった」などと言ったところで、われわれの世代ですら何やらピンときません。今や世界のどこにいても電話やメールはしょっちゅう来るし、現代の娘達は15歳の倍くらいの年齢になってもやっと結婚するかどうか。あえてここはベジタリアン風にと言われたほうが歌う側(米国人を含む)にも、特に若い人達にはわかりやすい。さて我が男声軍は一生懸命にベジタリアンサウンドにするべく、ju-go-de-ne-ya-wa...と今度は空腹感でちょっと元気がなくなったような声で歌っています。先生すかさず、“Wonderful! That sounds MUCH better. Keep on....”

これを聞きながらつい里芋の煮っころがし、切り干し大根の煮付、とかの上に赤とんぼがスイスイと飛んでいる様子を想像してしまいました。まあ、これでいいのかどうかは別ですが。

さて、この『赤とんぼ』の歌、コーラルコスモは9月11日の Westminster Concert Series、19日の Friendship Concertでも歌います。19日は善通寺混声コールの皆様も別のアレンジでの『赤とんぼ』を歌うことになっておりますのでどうかよろしく。詳細はこちら <http://www.choralcosmo.com/whats-new> をご覧ください。本当は善通寺混声コールとの友好コンサートの様子をお伝えするつもりで、その準備のための練習風景を書き始めたのですが、八木さんから友好コンサートの序章があればほしいと頼まれたので書き出しの部分に少し書き加えて序章としました。本題のほうは、友好コンサートの後で書きます。



6月20日 Summer Frolic Concert より→



← 2月 定演前の練習



6月12日 ハイチ地震ベネフィットコンサートにて。指揮:香川恵子さん



2010年8月21日 夏の Annual Retreat(合宿)アルダースゲートにて



関連団体コンサート案内

▶ KIZUNA (絆) コンサート

Silicon Valley Dawn Syndrome Net Work(SVDSN) へのチャリティーコンサート。Harmony '84 の指揮者渡辺幸子さんとお友達が企画。Harmony '84 も出演。チケット: Gen. \$ 20、Sr. & Student \$15
12 & under \$10 (Tax deductible)

2010年10月24日(日) 午後3時
Japanese Seventh-Day Adventist Church
195 North Rengstorff Ave., Mountain View

▶ サンフランシスコ日本祭 いしかわ

2010年11月22日(月) 午後7時 \$20
SF Davies Symphony Hall
201 Van Ness Ave., San Francisco

▶ クリスマス・シング・アロング

出演: Chorale May 他
2010年12月5日(日) 午後3時
Sturge Presbyterian Church
25 South Humboldt St., San Mateo

▶ クリスマスコンサート ふるさと会主催

出演: SFFC、Chorale May、Ensemble Shiki
2010年12月12日(日) 午後3時
Pine United Methodist Church, San Francisco
426 33rd Ave., SF

▶ クリスマスイブコンサート

出演: Choral Cosmo、Harmony '84 他
2010年12月24日(金) 午後7時
Aldersgate United Methodist Church, Palo Alto
4243 Manuela Ave., Palo Alto

▶ Choral Cosmo 第12回定期演奏会

2011年2月19日(土) 午後7時
Prince of Peace Lutheran Church, Saratoga
12770 Saratoga Ave., Saratoga, CA 95070

▶ Madama Butterfly

出演: Choral Cosmo の指揮者香川恵子さん他。
北カリフォルニア日本合唱連盟のメンバー多数出演。
2011年4月2日(土) 午後5時
Santa Clara University

▶ College of San Mateo『アジア月間』

北カリフォルニア日本合唱連盟合唱祭
2011年5月21日(土) 午後7時~8時30分



♪ 思い出のひとコマ ♪ ★ Chorale May ★

2010年7月21日(水) ホテルかぶきで行われた長嶺総領事ご夫妻送別会の写真です。コーラル・メイの有志が歌って盛り上げました。また、

故郷とはるかな友へは、総領事も壇上に上がられ一緒に歌われました。(松浦 功)



2010年7月21日
三浦るり子さんの
指揮で歌う Chorale
May の皆さん



◇ 編集後記 ◇

グリーンの上に赤い葉っぱが積もるようになり、秋を感じたカリフォルニア。『♪麦藁帽子にトマトを入れて抱えて歩けば暑いよおでこ〜・・・』陽射しの強い野菜畑で、『♪麦藁帽子のトマトをひとつ〜・・・』とおぼれを期待しながら、『♪つーいて来るついて来る・・・』裏庭我が物顔の君よ。今年のトマトは今でも色付き、君の鼻先を楽しませているだろうか。

ここ日本では残暑悩ましい毎日。まだ遠慮がちな虫の声で秋の夜は更けて行きます。木々の紅葉にはまだ少し時間がかかりそうですが、金色に輝くちょっと手前の秋穂にそっと手を触れて、秋の恵みを感じています。

八木妙子

連盟だより 第7号

発行者: 松浦 功
編集者: 八木 妙子

発行: 2010年9月30日
北カリフォルニア日本合唱連盟
Japanese Choral Federation of Northern California
info@jcfnc.org http://www.jcfnc.org

次回 第8号は11月末日発行の予定です。
編集部は皆様からのご投稿をお待ちしております。連盟だより既刊号は
http://www.jcfnc.org/Home/newsletters